



平成28年度施政に関する基本方針 「賑わいと歴史ある迎都 泉佐野」 ～ひとを育み ひとにやさしく～

千代松市長は3月2日の定例市議会で、平成28年度の施政に関する基本方針を表明しました。

我が国の景気は、緩やかな回復基調が続いており、先行きについても、これまでの経済財政政策の効果により、緩やかな回復に向かうことが期待されるといわれています。このようななか、安倍内閣はアベノミクスの第二ステージとしまして、「新・三本の矢」を打ち出し、「一億総活躍社会」の実現に取り組んでいくこととしています。

「一億総活躍社会」とは、人口1億人を維持し、すべての人が生きがいを持って充実した生

活を送ることができるとともに、これを実現するためのメーンエンジンとして高まってきた「地方創生」であります。本市としましては、この「地方創生」の波に決して乗り遅れることなく、昨年10月に策定いたしました「泉佐野市人口ビジョン」並びに「泉佐野市まち・ひと・しごと創生総合戦略」に基づき、人口減少の克服と地域が活性化し、まちが元気になる施策に積極的に取り組む、多様化する市民ニーズと時代の流れに迅速に対応していく所存であります。

一方、大阪府におきましても、大阪の強みを生かした「地方創生」の取組を進めていくとし、西日本随一の都市としてのポテンシャルを生かし、「首都・東京」とともに我が国全体の発展をけん引する「副首都・大阪」の確立をめざしていくといたします。

本市におきましては、財政状況としまして、財政健全化団体より脱却したものの、今後も地方債残高を多く抱え、多額の公債費負担が継続することは、財政健全化団体の時と全く変わりません。今後、地方交付税制度

の改正や社会保障費の増加など不確定な要素も多いことから、再び財政健全化団体に陥ることのないよう、昨年3月策定の「中期財政計画」に基づいた取組を継続していく必要があります。こうしたことから、平成28年度当初予算編成におきましては、「地方創生」と「中期財政計画」を両立しながら、引き続き黒字決算を維持していくため、歳出面では限りある財源を最大限に効率的かつ効果的に活用するための事業の選択と集中を進め、歳入面では税外収入に加え、新たな財源の創出に取り組むとともに、「地方創生」では国からの交付金をはじめ、基金の活用など、その財源の確保に努めてまいります。

今後とも市民サービスの低下を招くことなく、市民ニーズを反映した行政施策などに対応できるよう、市民のみならず、ご理解、ご協力を賜りながら、一生懸命取り組んでまいります。

施政方針は抜粋したものです。全文はホームページ(http://www.city.izumisano.lg.jp/kakuka/koushitsu/seisaku/menu/sisei_hosin/)をご覧ください。

の改正や社会保障費の増加など不確定な要素も多いことから、再び財政健全化団体に陥ることのないよう、昨年3月策定の「中期財政計画」に基づいた取組を継続していく必要があります。こうしたことから、平成28年度当初予算編成におきましては、「地方創生」と「中期財政計画」を両立しながら、引き続き黒字決算を維持していくため、歳出面では限りある財源を最大限に効率的かつ効果的に活用するための事業の選択と集中を進め、歳入面では税外収入に加え、新たな財源の創出に取り組むとともに、「地方創生」では国からの交付金をはじめ、基金の活用など、その財源の確保に努めてまいります。

今後とも市民サービスの低下を招くことなく、市民ニーズを反映した行政施策などに対応できるよう、市民のみならず、ご理解、ご協力を賜りながら、一生懸命取り組んでまいります。

平成28年度の当初予算は、中期財政計画に基づき、これまでの行財政改革の取組を継続していくものとし、「地方創生」と「中期財政計画」を両立しながら、「新泉佐野創生」をめざす予算としました。

主な事業として、「子育て支援」では、こども医療費助成の通院分を中学校3年生まで拡充、「教育環境の充実」では、佐野中学校に50mプールを整備、「防災対策」では、旧樫井酪農団地用地を活用した防災公園の整備「まちの活性化・賑わいの創出」では、熊取駅西地区整備や住宅リフォー



一般会計予算の特徴

実質的には、対前年度比39億8千万円(10.0%)の増
「新泉佐野創生」を目指す予算
問合先 行財政管理課

平成28年度当初予算 総額 920億2,503万円

会計名	平成28年度(万円)	平成27年度(万円)	比較増減(万円)	比率(%)
一般会計	544億5,560	443億 972	101億4,588	122.9
繰上償還および借換債除く(*1・2)	439億6,078	399億7,972	39億8,106	110.0
国民健康保険事業特別会計	138億5,274	140億3,472	△1億8,198	98.7
下水道事業特別会計	71億6,390	71億 144	6,246	100.9
前年度繰上充用金および借換債除く(*2・3)	49億5,390	47億2,724	2億2,666	104.8
公共用地先行取得事業特別会計	3億5,100	3億4,991	109	100.3
介護保険事業特別会計	84億9,977	82億1,273	2億8,704	103.5
後期高齢者医療事業特別会計	11億3,588	10億8,038	5,550	105.1
病院事業債管理特別会計	20億3,064	22億 257	△1億7,193	92.2
水道事業会計	45億3,550	43億1,863	2億1,687	105.0
合計	920億2,503	816億1,010	104億1,493	112.8

(*1) 繰上償還…今後の財政運営を考慮し利子負担軽減のために償還を繰り上げて行うもの
(*2) 借換債…満期時に一部を借り換えるもの(*3) 前年度繰上充用金…前年度の赤字見込額
※これらを除いたものが実質的な予算規模になります。

各会計予算

市民と協働し、すべてのひとが輝くまちづくり

【人権】

- 「泉佐野市人権意識調査結果報告書」により、人権に関する市民の意識を分析し、人権行政施策を推進します。
- 総合生活相談は、相談者に寄り添った対応に努め、その機能の充実を図ります。
- 市民交流センターは、耐震化工事を実施します。また、北部市民交流センターは公民館機能を、南部市民交流センターは学校教育・社会教育機能を持つ複合施設に向けた準備を進めます。

【男女共同参画】

- ドメスティック・バイオレンス、セクシュアル・ハラスメントなどの相対対応やその防止・啓発に努めます。
- 「女性活躍推進法」を周知し、女性の社会活躍を支援します。
- ワーク・ライフ・バランス（仕事と生活の調和）や女性の就労継続が整えられるよう取り組みます。

【平和】

- 「非核平和都市宣言」のもと、人権・平和意識の高い社会環境の形成に努めます。

【国際化】

- 中国上海市徐匯区や宝山区へ友好代表団を派遣します。

また、モンゴル国トゥブ県とは、友好代表団やマラソン選手の受け入れ、寄贈を受けたゲル（遊牧民の移動式住居）の有効活用など、さらなる交流を進めます。

- オーストラリア・サンシャインコースト市と青少年海外派遣研修事業をはじめ、マラソン選手の相互派遣や文化交流事業を実施します。

【情報・通信】

- 平成29年1月より、住民情報系システムの自治体クラウドでの運用に向けて取り組みます。
- わかりやすい情報を「広報いずみさの」やホームページなどを通じて積極的に発信します。また、駅前での広報活動を引き続き実施します。

【参画と協働】

- タウンミーティングや市政モニター制度により、市民の意見を市政に反映します。
- 市民通報システム「まちレポ泉佐野おせちョ～」の運用により、市民と行政との迅速・正確な情報伝達に努めます。
- 市民公益活動団体における市民活動の情報発信に努めます。

活力をうみ、賑わいのあるまちづくり

【産業】

- 地場野菜の消費拡大とエコ農産物生産者の支援のため、農業団体との連携に取り組みます。
- 「農業祭」など地産地消活動の支援や地場食材を活用した独創的な加工商品の開発に取り組み、泉佐野産（もん）の普及促進に努めます。
- 森林所有者、大阪府森林組合、大阪府と連携して、森林の保護を推進する取組を展開します。
- 「泉佐野市ワタリガニの普及の促進に関する条例」を制定し、魚食の普及、知名度向上に努めます。また、「海鮮焼市場」に関連する施設整備を進めます。
- 本市で創業を希望する女性をターゲットにした起業支援セミナーの開催や創業支援補助事業を実施します。

【観光】

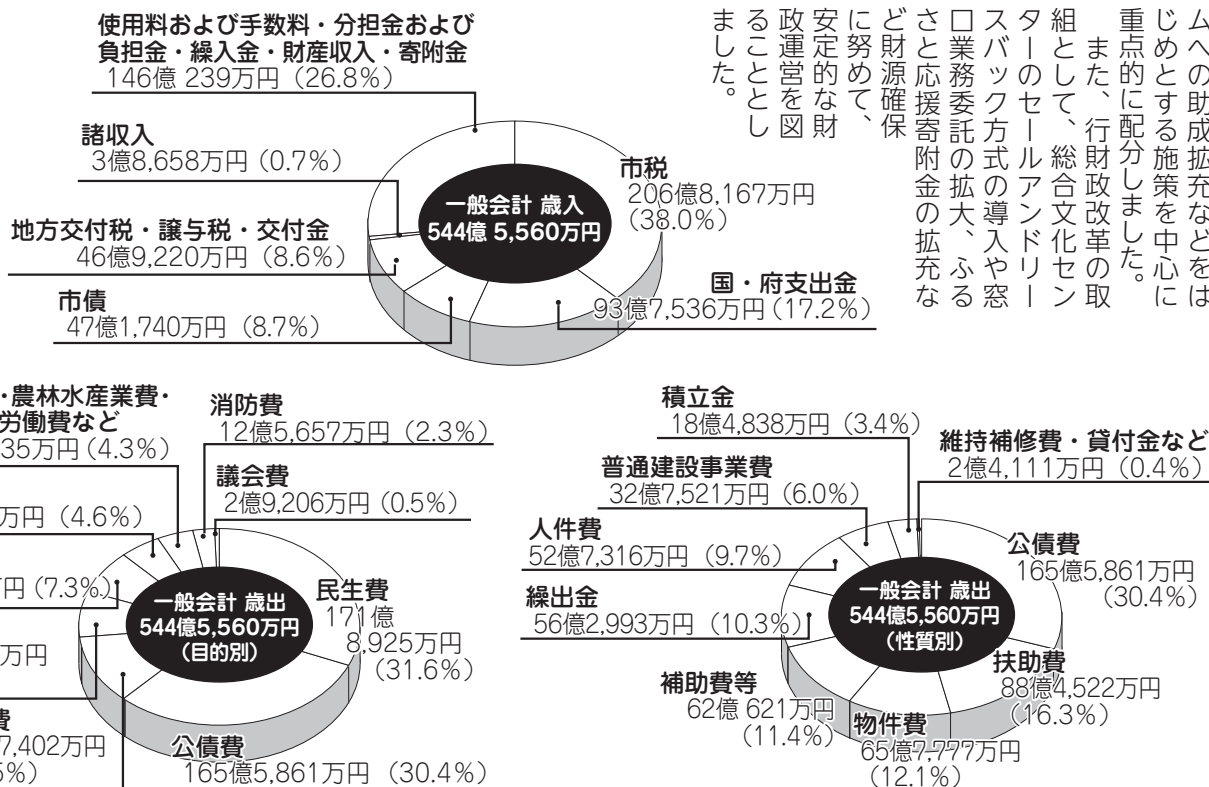
- 観光交流プラザ「りんくうまち処」および観光情報プラザ「関空まち処」を拠点として、訪日外国人旅行者へ手ぶら観光、ハラル食などの情報を発信し、満足度向上

- およびインバウンド観光の推進に取り組みます。
- 国際会議などのMICE（マイス）や統合型観光リゾート（IR）の誘致に向け、必要な取組を行います。
- いわゆる「おもてなし条例」により、訪日外国人旅行者の受入環境整備や滞在促進を充実させるため、宿泊施設の誘致に取り組みます。また、公衆無線LAN（Wi-Fi）環境の基盤整備や電子マネーなどのキャッシュレス化を検討します。
- 郷土の伝統芸能の1つである「佐野くどき」の踊りの輪を広げる取組など、さらなる地域のにぎわいの創生をめざします。

【雇用・労働】

- 就職困難者等に対して、多様化するニーズにあった就労支援に取り組みます。
- 就労支援フェアを通じて、市民の就労・雇用の機会を提供し、就職率の向上を図ります。

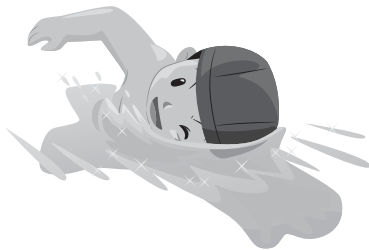
まし政安にどさ口ススタ組と重じム
しこ運定の努め財保とた業務委託の拡充な
た。と営的をなて、保寄金の拡充な
し。とをなて、財保とた業務委託の拡充な
た。と営的をなて、保寄金の拡充な
し。とをなて、財保とた業務委託の拡充な



歴史・文化を大切にし、ひとを豊かに育むまちづくり

【学校教育】

- 「泉佐野市道徳教育振興条例」に基づき、道徳教育の振興を図ります。
- 学力向上の取組として、学力向上アドバイザーを配置し、指導・助言を行います。
- 授業にゆとりを持たせるために「夏休みの短縮」に加え「土曜授業」を実施するとともに、「小学校3・4年生における35人以下の少人数学級」を導入し、個別の課題によりきめ細かく対応します。
- 「英語教育推進事業」を全小中学校で実施し、ICT活用教育の推進に努め、学校図書館の活性化を図り、子どもの「読む・調べる」環境を整備します。
- 体力向上の取組として、日本体育大学や大阪体育大学との連携により講師の派遣などの取組を支援するほか、「小学校対抗大運動会（SANOオリンピック）」の開催など、小中学生の運動意欲を高める取組を進めます。
- いじめ・不登校問題の解決に向け、関係機関との連携を柱として、福祉的な視点も加味した総合的な支援体制を確立します。
- 小中学校の新通学区域については、その周知に努めます。また、第三小学校および佐野台小学校は、平成29年度からの特認校への指定に向け取り組みます。
- 学校施設の整備は、校舎内の整備を進め、トイレの洋式化やエレベーターの設置などを年次的に行い、机・イスの更新を順次行い、教育施設の充実に努めます。
- 市営プールの建て替えや、佐野中学校敷地内へのプール新設を計画的に進めます。
- 学校給食は、地元産品を取り入れるなど、安全で安心な給食の提供に努めます。



【生涯学習・スポーツ】

- 生涯学習センターおよび公民館、図書館の運営は、指定管理者制度を導入し、市民サービスの向上に努めます。
- オリンピック開催年であることから、本市出身のトップアスリートを応援し、スポーツへの関心を高め、地域スポーツの振興、トップアスリートの育成につながるよう取り組みます。
- 市民総合体育館・健康増進センターは、民間の提案を受けながら、より効率的・効



果的な活用が図られるよう、指定管理者の選定について検討します。

【歴史・文化】

- 国史跡「日根荘遺跡」の適切な保存活用と整備に向けた計画策定を進めます。
- 国の重要文化財「奥家住宅」は、「奥家住宅再生プロジェクト」を活用し、保存修理を進めます。
- 歴史館いずみさのは、指定管理者制度を導入し、市民サービスの向上に努めます。
- オープン20周年を迎える総合文化センターは、セールアンドリースバック方式の導入により売却し、25年間のリース契約のもと、引き続き、公の施設として利用促進に努めます。

安全で、ひとと地球にやさしいまちづくり

【消防・防災】

- 地域における防災力の強化に向け、その中核を担う消防団に対し、消防団車庫の建替による耐震化や装備、教育訓練などの充実強化を図ります。
- 11月の第1日曜日を「市民防災の日」と定め、全市民を対象とした「大防災訓練」を実施します。
- 「国土強靱化地域計画」の策定に向け取り組みます。

【地域安全】

- 市内8駅周辺に設置した防犯カメラの活用と新たに町会・自治会による防犯カメラ設置の支援を行います。
- 青色防犯パトロール事業により、犯罪のない安心して暮らせるまちづくりを推進します。
- 自転車講習会に参加した65歳以上の高齢者に自転車ヘルメットの配付など、安全対策や交通事故の撲滅に向けて推進します。



【環境衛生・環境保全】

- 「檀波羅公園墓地維持管理基本計画（仮称）」の策定を進め、補修計画と合葬式墓地整備の可否などを検討します。また、墓地区画の新規募集は年2回実施します。
- 東佐野駅前への公衆トイレの設置に向け、関係機関と協議を進めます。
- 高齢者雇用の観点も兼ねた「まち美化清掃活動」を継続します。
- 家庭用燃料電池コージェネレーションシステム設置費

用補助制度を継続します。

- 公共施設の屋根を利用した太陽光発電などの推進に努めます。

【廃棄物処理】

- 「一般廃棄物（ごみ）処理基本計画」に基づき、廃棄物のさらなる削減と資源循環の推進に努めます。
- 廃棄物の収集運搬、中間処理や最終処分は、適正かつ安定的に行います。



【消費生活】

- 振り込め詐欺や高齢者の消費者被害などが多発しており、啓発講座の実施や相談員のスキルアップなど、対策の強化を図ります。
- 未成年者の消費者被害を未然に防ぐため、消費者教育推進大使に委嘱された「イヌナギン」を活用した消費者教育の推進を図ります。



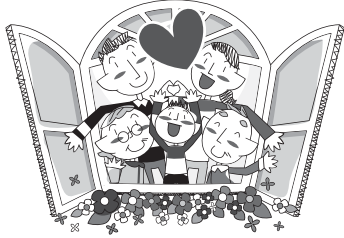
やさしさとふれあいのあるまちづくり

【地域福祉】

- 「第2次泉佐野市地域福祉計画・地域福祉活動計画」に沿った共助機能を推進し、地域福祉セーフティネットの構築に努めます。
- 本市を含む3市3町で共同設置した広域福祉課では、平成29年1月から身体障害者手帳などの認定・交付事務を開始します。

【高齢者福祉】

- ひとり暮らし高齢者などが安心して生活できるように、地域での支え合いを推進します。
- 子どもを安心して産み育てられ、高齢者が安心して暮らせる住環境を創るため、「三世代同居等支援事業」を実施します。



【児童福祉】

- 「子ども・子育て支援事業計画」、「次世代育成支援行動計画」の遂行に努めます。
- こども医療費助成事業の通院分の対象者を、中学校卒業年度末まで拡大します。
- 公立こども園の円滑な運営に努め、私立の幼稚園、保育園、認定こども園と連携して、教育・保育の充実に努めます。
- 木馬園の耐震化工事をはじめ、施設の充実に努めます。
- 留守家庭児童会を大木小学校において開始します。
- 貧困家庭の子どもの居場所となるいわゆる「こども食堂」の設置に向けた取組を進めます。

【障害者福祉】

- 障害者計画および障害福祉計画である「いずみさのあいあいプラン」の着実な推進を図ります。
- 「障害者差別解消法」に基づき、相談窓口の設置をはじめ、相談支援体制の構築や啓発活動などを進めます。

【健康・医療】

- 「健康都市宣言」を踏まえ、市民一人ひとりの健康を支えていく施策を、市全体で取り組みます。
- 妊産婦健診の府内最高水準の公費負担を維持し、不妊症・不育症治療の支援を継続します。
- 予防接種事業は、接種率の向上に努めます。
- 各種がん検診事業は、検診機会の拡大を図り、受診勧奨に努めます。
- りんくう総合医療センターは、公的医療を安定的に提供できるよう支援します。また、泉州南部初期急病センターは、小児科の診療日を増やすなど初期医療体制の充実に努めます。

【社会保険等】

- 「第6期介護保険事業計画及び高齢者保健福祉計画」に基づき、介護保険事業の適正な運営に努めます。
- カラオケや音楽体操など介護予防教室などの介護予防事業に取り組みます。
- 国民健康保険事業は、保険料水準を維持し、医療費の適正化などに努めます。



心地よく、くつろぎを感じるまちづくり

【道路・交通】

- 都市計画道路泉佐野土丸線は、基本設計を行い、早期の事業実施に向け、関係機関と協議します。また、関西国際空港と京奈和自動車道を結ぶ「京奈和関空連絡道路(仮称)」の早期実現に向け取り組みます。
- コミュニティバスは、無料化により交通弱者やひきこもりの防止を図ります。また、観光周遊バスの無料運行により、観光客の利便性を高めます。

【公園・緑地】

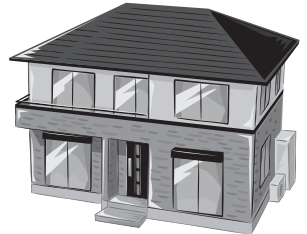
- 公園遊具の修繕などを行い、公園施設の適正な維持管理に努めます。
- 「泉佐野南部公園(仮称)」は、多目的グラウンドを有する防災公園として整備を進めます。
- りんくう公園予定地に、大阪府から土地を借り受けたうえで、通年型のスケートリンク施設の誘致を進めます。

【上下水道】

- 老朽化した配水管を計画的に更新するなど、災害に強い水道施設の構築をめざします。また、年次的に配水幹線のバックアップ機能の強化を図ります。
- 本市への定住を促進するため、新たに転入単身世帯に対する水道料金などの減免制度を実施します。
- 暮らしに必要な不可欠な下水道を着実に推進します。雨水整備は、浸水区域の解消を図るため、計画的かつ重点的に実施します。汚水整備は、下水道普及率の向上を図るため、PFI手法なども視野に入れ、効率的に進めます。



- 本市への定住・移住を促進するため、「住宅総合助成制度」や「空き家バンク登録制度」を実施します。
- 耐震化では、耐震診断、耐震設計、耐震改修、改修と同時施工するリフォーム工事や耐震性のない木造住宅の除却工事に対し助成します。また、市内業者に発注する一般的リフォーム工事に対しても助成します。



【市街地整備】

- りんくうタウン北地区地区計画をはじめ、都市計画全体の見直しに着手します。
- 熊取駅西地区は、基幹道路の事業認可を取得し、用地買収などに着手します。
- 泉佐野駅周辺地区の活性化や訪日外国人旅行者の宿泊需要に対応するため、ホテルの誘致を図るなど、泉佐野駅前交通広場の立体利用を誘導します。

【景観】

- 景観行政団体として、景観の形成に努めます。
- 「日根荘大木の農村景観」を通じて、地域の活性化につながる取組を地域とともに検討します。

